

青少年赤十字創設100周年特別事業

「100万羽おりづるプロジェクト」

事業概要



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

無断転載禁止

本資料の画像や情報の
無断転載はおやめください

事業概要

青少年赤十字創設100周年を迎えて

100万羽のおりづるの制作に参加

ギネス世界記録に挑戦

海外へのノート寄贈

参考：青少年赤十字について



1922 > 2022



**青少年赤十字は
2022年に創設100周年を迎えます**

1922年（大正11年）守山小学校（滋賀県）で日本最初の少年赤十字が誕生

100周年記念ロゴデザイン



100年続く青少年赤十字のイメージをデザイン化

100の中に「**青少年赤十字マーク**」と
日本赤十字社公式キャラクター「**ハートラちゃん**」を盛り込み
世界性と活気をイメージさせる **ピンク色の英文字**
「**JUNIOR RED CROSS 100th ANNIVERSARY**」

プロジェクトの導入の意義

誰の心にもある、「やさしさ」や「思いやり」を行動に移せる園児・児童・生徒の育成を行っているのが、青少年赤十字です。

このプロジェクトは、青少年赤十字創設100周年を記念して行われ、園児・児童・生徒のより一層の健康と安全、そして国際理解を深めるとともに、人類社会に対する奉仕の精神を育成することを目的に行います。

100万羽おりづるプロジェクトの実施主体

- 【主催】** 青少年赤十字広島県指導者協議会
日本赤十字社広島県支部
- 【後援】** 広島県教育委員会
広島市教育委員会
- 【参加】** 青少年赤十字加盟校・園
県内小・中・高等学校・特別支援学校
- 【協力】** 広島県内赤十字奉仕団
- 【協賛】** 100万羽おりづるプロジェクト協賛会

導入サポート

☆初めての青少年赤十字の活動をサポートします。

- ・青少年赤十字に関する資料・教材を提供します。
- ・プロジェクトの解説・進捗動画を配信します。
- ・指導者向けの研修や説明会を実施します。
- ・本プロジェクト導入の出前講義も承ります。

☆県内どこでも日赤職員がお伺いします。

☆オンラインによる遠隔講義にも対応しています。

プロジェクトのコンセプト



祈る



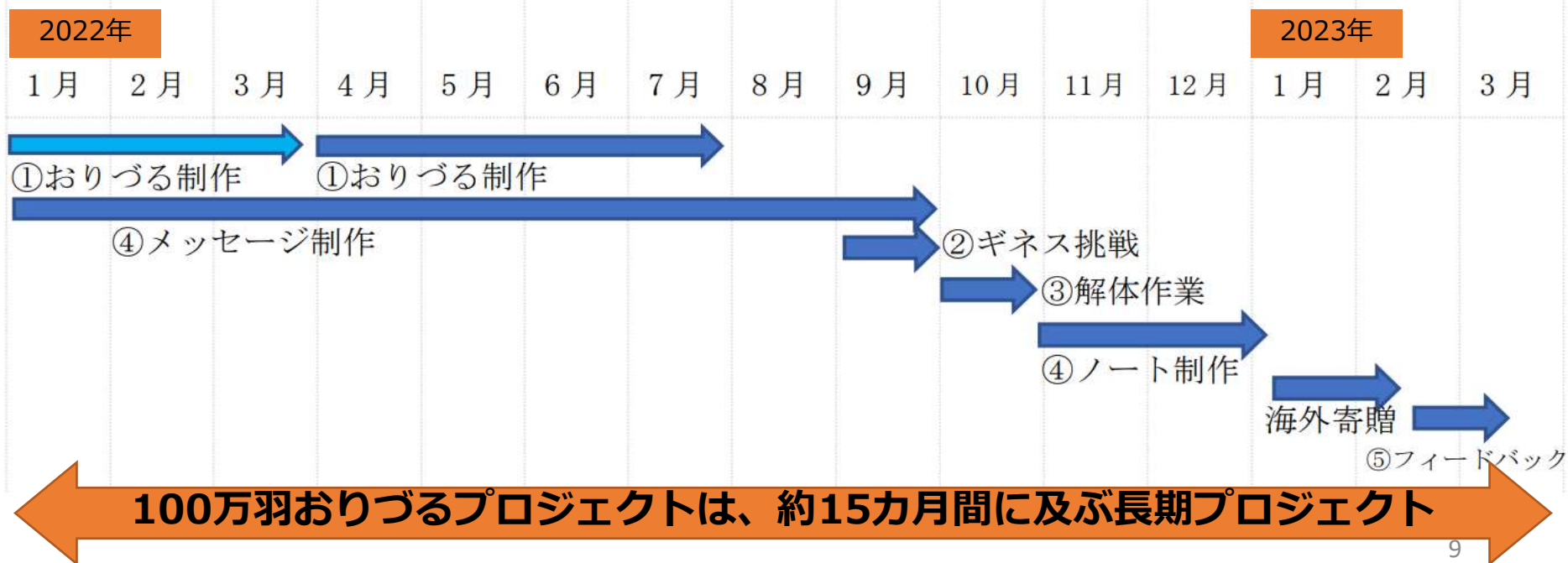
折る



伝える

プロジェクトの全体スケジュール

1. 参加者みんなで100万羽のおりづる製作
2. おりづるの連結・記録計測（※ギネス世界記録挑戦！）
3. おりづるの解体・再生紙でノートを製作
4. メッセージを添えたノートを海外の貧困地域に送る
5. 全体フィードバック



参加する学校等をお願いすること

・園児・児童・生徒への依頼内容

☆100万羽のおりづるの製作（次頁）

- 1.ギネス世界記録挑戦の会場作業のお手伝い（12頁）
- 2.おりづるの解体（13頁）
- 3.ノートに添えるメッセージの製作（14頁）
- 4.事業の様子を収録したDVD制作協力（15頁）

※1～4は任意ですが、ぜひ参加のご検討をお願いします。

※おりづる制作等要領を別途参加学校あてお送りします。

・指導者への依頼内容

☆プロジェクト導入のための指導

☆おりづる製作指導等

参加する学校等をお願いすること（共通）

☆ 100万羽のおりづるの製作

【何をするのか】

児童・生徒1人あたり10羽～30羽を目安に折り鶴を制作し、1本の紐で繋げていただきます。

【いつごろまでに】 ※2022年1月開始の先行制作期間は、卒業を控える児童等を想定しています。

2022年1月～7月末までに

【どうしてするのか】

世界には、学校に通い、机とイスに座って新しい文具を使って勉強することが困難な子どもたちがいます。

世界の実情を知り、皆さんと同じように教育が受けられることを**祈り**、願いを込めて鶴を**折り**ます。

参加する学校等をお願いすること（任意1）

1. ギネス世界記録挑戦の会場作業のお手伝い

【何をするのか】（詳細は18頁）

みんなで制作したおりづるを最終的に1本のレイにします。
100万羽のおりづるを繋げた長さの世界記録です。
挑戦会場でおりづるを並べるお手伝いを募集します。

【いつごろ】

2022年9月22日(木)～9月24日(土)

【どうしてするのか】

みんなの活動を広くPRするため、ギネス世界記録に挑戦
します。

「仲間と協力し合い、課題を解決する・目標を達成することの
大切さ」を学び、全国の青少年赤十字の仲間に向けて、みんなの成功体験から伝えてほしいと考えています。

参加する学校等をお願いすること（任意2）

2. 100万羽のおりづるを解体

【何をするのか】

ギネス挑戦後、一部を除いて作った折り鶴を解体します。解体した折り紙を材料とした、再生紙ノートの制作の準備のお手伝いをお願いします。

【いつごろまでに】

2022年9月下旬から11月下旬までのおよそ2カ月間

【どうしてするのか】

おりづるの再生利用を通じて、エネルギーや資源の有効利用について学び、環境問題について考える機会を得ます。

参加する学校等をお願いすること（任意3）

3. ノートに添えるメッセージの製作

【何をするのか】

オリジナルノートに華を添える、広島の子どもたちから世界の子どもたちへ向けたメッセージを募集します。

メッセージは、ノート裏表紙に掲載されます。

【いつごろまでに】

2022年1月～9月末までに

【どうしてするのか】

世界の友達に向けたメッセージを送ります。

世界の子どもたちとの交流や国際理解・親善について考える機会を得ます。

参加する学校等をお願いすること（任意4）

4. 事業の様子を収録した動画出演協力

【何をするのか】

ネパール国※にノートと一緒に、制作過程の様子を収めた動画を届けます。動画に出演できる学校を募集しています。

※2021年11月末現在、渡航状況等により調整中であり、対象国・渡航時期が変更になる場合がございます。

【いつごろまでに】

2022年1月～12月ごろまで

【どうしてするのか】

日本の、広島の子どもたちの様子や、どんな思いをもってこのプロジェクトに参加したか、その**想いを伝える**ために動画を制作します。また、広報・記録用を兼ねており、国内外に活動をPRします。

おりづる再生ノートの寄贈

【ノートの寄贈】

支部の職員が、ネパールの子どもたちにノートを届けに行きます。その際に、おりづる制作過程やメッセージ付きの動画を持っていきます。

【いつごろ】

2023年1月～2月ごろ

【全体まとめ・フィードバック】

ノート寄贈の様子を動画で配信します。

プロジェクトの総括を各学校等において実施してください。
このプロジェクトで学んだことをこれからのより良い学校生活に生かしてください。

SDGsとの関連性

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



このプロジェクトでは、「貧困」「健康と福祉」「質の高い教育」「陸上資源」「平和と公正」の改善を継続目標と捉えて実施します。

ギネス世界記録（記録更新）への挑戦

世界一の、オンリーワンの記録への挑戦！！

【挑戦タイトル】

「Largest origami lei 最も大きい折り紙のレイ」

【挑戦内容】

100万羽のおりづるを「ひとつの大きなレイ」に繋ぎ、その長さの世界記録に挑戦します。

【挑戦者名】

Junior Red Cross members from Hiroshima(2021-2022)

和訳：2021-2022年度広島県青少年赤十字メンバー

開催日：2022年9月24日（土）

場 所：広島県立総合体育館 武道場

※2022年9月22日（木）～23日（金）に会場で設営作業を行います。

ギネス世界記録（記録更新）への挑戦

「Largest origami lei 最も大きい折り紙のレイ」

本プロジェクトでは、現行世界記録の3倍に相当する100万羽の折り鶴を使い、全長約29kmとなる見込みです。

一羽一羽に参加者のそれぞれの想いや祈りを込め、ひとつにレイに繋ぎましょう。

（各学校で一定の長さのレイにした状態で集め、会場内で1本に結束していきます。）



当時の記録挑戦の様子

出典：折り鶴のレイで世界一 長さがギネス認定 沖縄市民平和の日 | 女性自身 (jisin.jp)

<https://www.guinnessworldrecords.jp/world-records/largest-origami-lei>（関連サイトリンク）
現世界記録は、2017年に沖縄市が制作した330,380羽のおりづるによる全長9.7kmのレイです。

ギネス世界新記録の樹立時の特典

名前が入った公式参加認定証が購入できます

【公式参加認定証】

公式参加認定証は、世界記録に関わった全ての皆さまの世界一樹立を公式に証明する文書です。

180 x 256 mmの公式参加認定証には、ギネス世界記録が公式に発行している証として、特別なホログラム印刷が施されています。



参加する学校名の入った参加認定証をご注文いただけます。
注文は支部にて取り纏めを行います。

認定証1部：5,000円+送料700円を
支部あてにお支払ください。

※注文に関する資料は別途、プロジェクトへ参加する
学校にご案内します。

お知らせ①～全校対象～

参加申込について

本プロジェクトは、別添の参加申込書に必要事項を記入の上、令和4年6月30日（木）までに日本赤十字社広島県支部までご提出ください。

先行制作期間（令和4年1月～3月）の制作をご希望される場合は、早急にご提出ください。

お知らせ②～未加盟校向け～

青少年赤十字への加盟登録について

本プロジェクトは、全ての学校等が対象の事業ですが、ギネス挑戦者名は、青少年赤十字メンバーとなります。是非、この機会に青少年赤十字への加盟をご検討ください。



※加盟登録に費用はかかりません。

【加盟特典】

- ・ 赤十字講習の減免
- ・ 講習資材等の無料貸出
- ・ 各種セミナーの無料開催、出張講義（心の参観日等）派遣
- ・ 新型コロナウイルス関連教材、防災教育教材等の無料提供

etc…

お知らせ③

100万羽おりづるプロジェクトの事業の進行に合わせて、日本赤十字社広島県支部公式サイト等において進捗を配信していきます。

日本赤十字社広島県支部

検索

【ホームページ】

<https://jrc-cms.ewmservice.com/chapter/hiroshima/>

【Facebook】

https://www.facebook.com/redcross.hiroshima/?hc_ref=SEARCH

【Twitter】

https://twitter.com/hiroshima_jrc?ref_src=twsrc%5Etfw

【YouTube】

https://www.youtube.com/channel/UCLpDB9DomyoDF_kdVoVoB3g

お問い合わせ先

100万羽おりづるプロジェクトに関するお問い合わせの他、
青少年赤十字に関するお問い合わせは下記までお願いします。

日本赤十字社広島県支部

組織振興課 青少年・ボランティア係

<住所> 〒730-0052

広島県広島市中区千田町2丁目5番64号

<電話> 082-545-5011 (直通)

082-241-8811 (代表)

<FAX> 082-240-2741

<Mail> soshiki@hiroshima.jrc.or.jp

参考資料

青少年赤十字の誕生

日本の青少年赤十字の誕生

次の100年に繋げるために



青少年赤十字の誕生

青少年赤十字（Junior Red Cross=JRC）は、第一次大戦中のアメリカやカナダ、オーストラリアなどの子どもたちが、赤十字社を通じてヨーロッパの戦場となっている地域の子どもたちへ文具や手紙を送ったことが発足のきっかけとなりました。

1922年に各国の赤十字社の連合体として結成されていた赤十字社連盟に正式に認定され、青少年赤十字が誕生しました。



日本の青少年赤十字の誕生

日本では、1922年に滋賀県の守山市立守山小学校の加盟校始まり、幼稚園・保育園から、高等学校3年生までが加盟の対象となったことでJRCの輪は広がっていきます。

広島県では、1927年に福山市立鞆小学校（現・福山市立鞆の浦学園）にて青少年赤十字が誕生し、約260校約8万人が加盟している状況（広島県の加盟率は約25%）となっています。

青少年赤十字は、「気づき・考え・実行する」ことを態度目標とし、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の実践目標に沿った実践的活動を通じて、周りの人たちと共に生きる力を育みます。

次の100年に繋げるために

青少年赤十字活動はいつからでもはじめられます！

青少年赤十字の掲げる子どもたちの自主・自立と「生きる力」を身に付けることは、学習指導要領に基づく学校教育の目的と合致しています。

青少年赤十字の誕生に触れて**奉仕**の精神を養い、**国際理解・親善**を図る、本プロジェクトから子どもたち一人ひとりが何ができるかを考えるきっかけとなります。

次の100年に向けてのスタートの年に、青少年赤十字の一員になりましょう！